国営天竜川下流二期土地改良事業計画概要書（案）

（低炭素農業水利システム構築）

目　　次

第１章　目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
第２章　地域の所在及び現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　第１節　地域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　第２節　地積　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
　第３節　現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
　第４節　地域環境の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
第３章　基本計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　第１節　事業計画の要旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　第２節　営農計画及び土地利用計画　・・・・・・・・・・・・・・・13
　第３節　用水計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
第４章　工事又は管理の要領　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　第１節　工事の内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　第２節　管理の要領　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
第５章　費用の概算　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
第６章　効用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
第７章　他の事業との関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
第８章　計画概要図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

第１章　目　　的

本地区は、静岡県の西部に位置し、浜松市、磐田市、袋井市及び周智郡森町にまたがる7,450haの農業地帯である。

本地区の営農は、水稲、小麦、大豆のほか、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物を組み合わせた農業経営、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物及び茶の専作による農業経営が展開されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営天竜川下流土地改良事業(昭和42年度～昭和59年度)等により整備されたが、経年的な施設の劣化により、用水路においてはコンクリート構造物のひび割れや摩耗が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。加えて、複数の揚水機を用いた配水に伴うエネルギー使用量が多い水利形態により、施設の維持管理に多大な費用を要している。また、ダム、取水工及び用水路の一部は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

このため、本事業では、老朽化した施設の改修にあわせて省エネルギー化に資する対策を行うとともに、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、もって農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

第２章　地域の所在及び現況

第１節　地　　域

事業名	地域
低炭素農業水利システム構築	静岡県 浜松市、磐田市、袋井市及び周智郡森町

第２節　地　　積

（令和６年８月現在）

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
浜　松　市	1,764	412	－	－	－	2,176	土地登記簿面積
磐　田　市	2,367	630	－	－	－	2,997	
袋　井　市	1,890	285	－	－	－	2,175	
森　　町	102	－	－	－	－	102	
計	6,123	1,327	－	－	－	7,450	

第３節　現　　況

１　気象

（１）一般気象

<table>
<tr><td>観測所名</td><td>浜松特別地域気象観測所</td><td>かんがい期</td><td>非かんがい期</td><td rowspan="2">計又は平均</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>観測期間</td><td>明治37年～令和６年</td><td>４月～10月</td><td>11月～３月</td></tr>
<tr><td colspan="2">平均気温（℃）</td><td>21.1</td><td>8.3</td><td>15.8</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">降　水　量</td><td>平均（㎜）</td><td>1,478</td><td>451</td><td>1,929</td><td></td></tr>
<tr><td>基準年（㎜）</td><td>949</td><td>435</td><td>1,384</td><td>昭和22年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">降水日数</td><td>平均（日）</td><td>74</td><td>34</td><td>108</td><td></td></tr>
<tr><td>基準年（日）</td><td>57</td><td>28</td><td>85</td><td>昭和22年</td></tr>
<tr><td colspan="2">根雪期間</td><td colspan="3">－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">無霜期間</td><td colspan="3">３月15日～12月７日　268日間</td><td>平成７年～平成16年</td></tr>
<tr><td colspan="2">最多風向</td><td>ＷＮＷ</td><td>最大風速
（風向）</td><td>29.1 m/s
（ＳＳＷ）</td><td>昭和36年～令和６年
最多風向発生時期　11月～４月
最大風速発生年月日　平成30年９月30日</td></tr>
</table>

（２）特殊気象

観測所名 浜松特別地域 気象観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 明治37年～令和６年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量（mm）	344	M43.8.9	1/182	324	R5.6.2	1/124	308	M44.8.4	1/90	301	S16.7.12	1/80	281	R4.9.23	1/50	
最大連続雨量（mm）	823	R6.8.20 ～ R6.9.1	1/1,000 以下	676	M43.8.6 ～ M43.8.10	1/380	618	M38.6.10 ～ M38.6.28	1/190	464	S13.6.27 ～ S13.7.4	1/34	434	S25.6.9 ～ S25.6.14	1/24	
最大連続干天日数（日）	71	S14.11.23 ～ S15.2.1 S48.11.11 ～ S49.1.20	1/215	62	H17.11.13 ～ H18.1.13	1/60	57	S50.12.10 ～ S51.2.4	1/40	55	S3.12.25 ～ S4.2.17	1/31	54	S17.11.18 ～ S18.1.10	1/28	

,

2　地形、土質及び土壌

（1）地形

一級河川天竜川水系天竜川の左右岸に広がり、地区内の標高は-3m～126mであり、地区勾配は田にあたっては1/1,000未満が約半数を占め、畑にあっては3°未満が大半である。

（2）土質及び土壌

水田土壌は主に灰色土壌粘土構造型、灰色土壌壌土型となっており、畑土壌は大部分が黄褐色土壌となっている。

3　水利状況

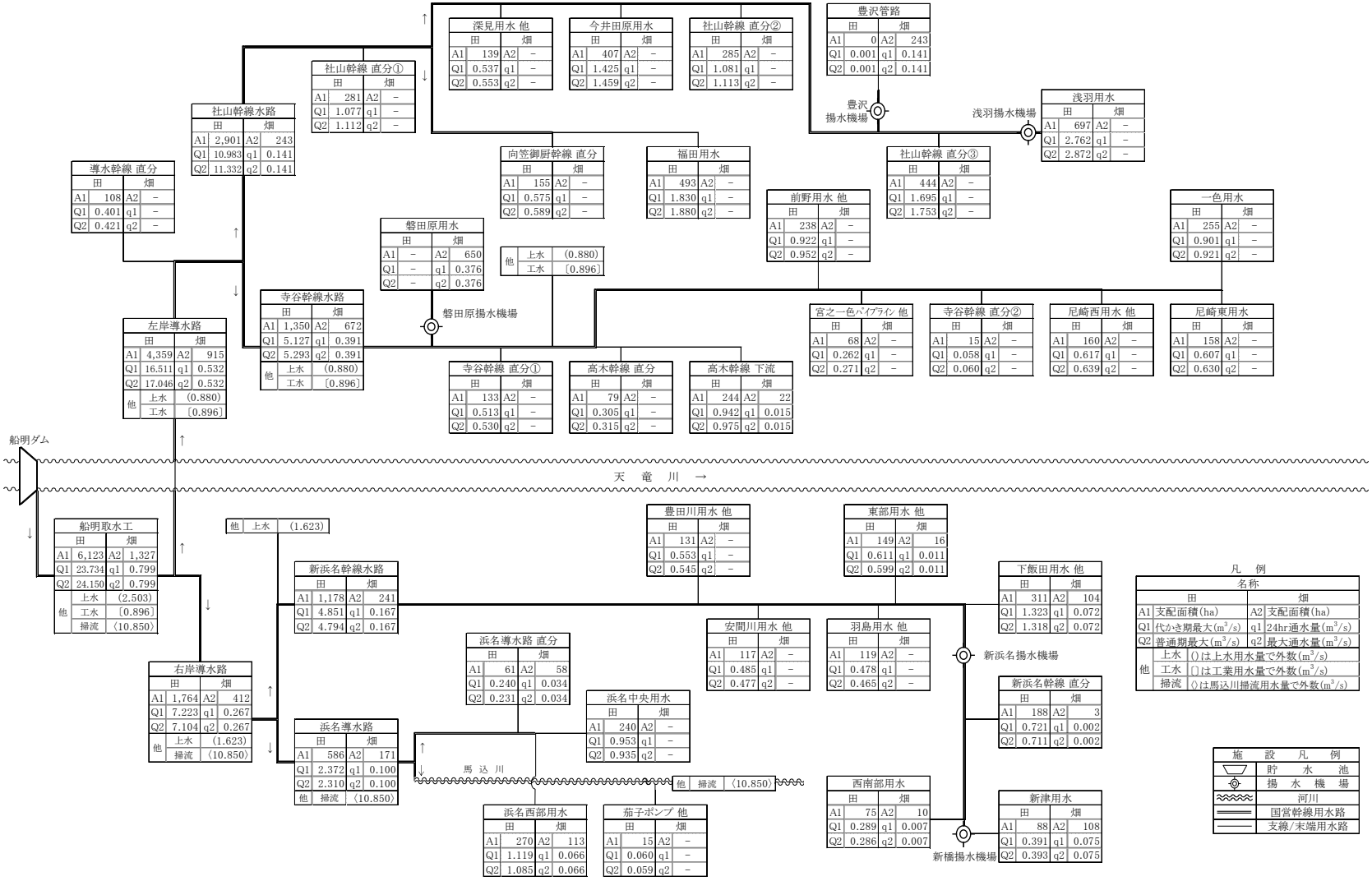
（1）用水状況

本地区の農業用水は、一級河川天竜川水系天竜川を水源とし、用水施設により各ほ場に配水されている。

本地区の基幹的な農業水利施設は、国営天竜川下流土地改良事業(昭和42年度～昭和59年度)等により整備されたが、経年的な施設の劣化により、用水路においてはコンクリート構造物のひび割れや摩耗が生じているなど、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。加えて、複数の揚水機を用いた配水に伴うエネルギー使用量が多い水利形態により、施設の維持管理に多大な費用を要している。また、ダム、取水工及び用水路の一部は必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生し施設が損壊した場合には、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

ア　用水系統

現況用水系統模式図



イ　用水施設

項目 / 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権等		延べ取水量	備考
	500ha以上		500～100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m^3/s	箇所	m^3/s	m^3/s	
貯　水　池	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	（ ）書きは500ha以上の自然取入口と重複で内数
井　　堰	－	－	－	－	3	(15)	3	(15)	3	(0.137)	－	－	(0.137)	
自然取入口	1	7,450	－	－	－	－	1	7,450	1	27.127	－	－	27.127	
揚　水　機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
そ　の　他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
計	1	7,450	－	－	－	－	1	7,450	1	27.127	－	－	27.127	

ウ　改修を要する施設一覧表

施設名＼項目	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年度 又は更新年度	改修を必要とする理由	備考
貯　水　池	船明ダム	7,450	重力式 コンクリートダム	堤高　　24.5m 堤長　　220.0m 貯水量　10,900 千㎥	昭和 52 年度	耐震性の不足	
井　　堰	－	－	－	－	－	－	
自然取入口	船明取水工	(7,450)	コンクリート	取水門 7.0m×4.3m×2 門 制水門 4.0m×3.8m×2 門	昭和 54 年度	老朽化及び耐震性の不足	( ) は船明ダムと重複で内数
揚　水　機	豊沢揚水機場	(243)	渦巻型	φ250mm×2 台、電動機	昭和 59 年度	老朽化及び 用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
	浅羽揚水機場	(697)	渦巻型	φ700mm×2 台、電動機 φ500mm×1 台、電動機 φ200mm×1 台、電動機	令和 7 年度	老朽化及び 用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
	磐田原揚水機場	(650)	渦巻型	φ400mm×1 台、電動機 φ300mm×1 台、電動機 φ250mm×1 台、電動機	昭和 59 年度	老朽化及び 用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
	新浜名揚水機場	(472)	斜流型 渦巻型	φ700mm×2 台、電動機 φ400mm×1 台、電動機 φ200mm×1 台、電動機	昭和 59 年度	用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
	新橋揚水機場	(196)	渦巻型	φ600mm×1 台、電動機 φ250mm×1 台、電動機 φ125mm×1 台、電動機	昭和 59 年度	老朽化及び 用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
用　水　路	左岸導水路	(5,274)	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	6.4 km	昭和 54 年度	老朽化及び耐震性の不足	( ) は船明ダムと重複で内数
	社山幹線水路	(3,144)	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	19.7 km	昭和 56 年度	老朽化及び耐震性の不足	( ) は船明ダムと重複で内数
	向笠御厨幹線水路	(648)	コンクリート直壁型	5.0 km	昭和 55 年度	老朽化	( ) は船明ダムと重複で内数
	寺谷幹線水路	(2,022)	コンクリート函渠 コンクリート直壁型	10.1 km	昭和 54 年度	老朽化及び耐震性の不足	( ) は船明ダムと重複で内数
	浅羽管路	(697)	管水路	1.6 km	昭和 57 年度	老朽化	( ) は船明ダムと重複で内数
	豊沢管路	(243)	管水路	0.6 km	昭和 59 年度	老朽化	( ) は船明ダムと重複で内数

施設名＼項目	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年度 又は更新年度	改修を必要とする理由	備考
用　水　路	磐田原幹線水路	(650)	管水路	1.0 km	昭和 59 年度	老朽化	( ) は船明ダムと重複で内数
	右岸導水路	(2,176)	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	5.0 km	昭和 54 年度	老朽化及び耐震性の不足	( ) は船明ダムと重複で内数
	浜名導水路	(757)	コンクリート直壁型	1.7 km	昭和 55 年度	老朽化	( ) は船明ダムと重複で内数
	新浜名幹線水路	(1,419)	コンクリート函渠 コンクリート直壁型	18.8 km	昭和 58 年度	老朽化及び 用水管理の合理化	( ) は船明ダムと重複で内数
そ　の　他	－	－	－	－	－	－	
計		7,450					

（２）排水状況

本地区の排水は、排水路や小河川を通じて一級河川天竜川水系天竜川、二級河川太田川水系太田川、二級河川馬込川水系馬込川及び同水系芳川に排水されている。

４　河川状況

本地区の河川は、地区の中央部を一級河川天竜川水系天竜川、東側を二級河川太田川水系太田川が北から南へ流下し、遠州灘に注いでいる。また、地区の西側を二級河川馬込川水系馬込川が北から南へ蛇行しながら流下し、同水系芳川と合流した後、遠州灘に注いでいる。

5　道路概況

本地区の道路は、高速自動車国道第一東海自動車道及び第二東海自動車道横浜名古屋線並びに一般国道１号及び 150 号が東西に横断し、一般国道 152 号が南北に縦断しており、これらの道路を基幹として主要地方道及び一般県道が接続し、道路網が形成されている。

6　営農状況

本地区の営農は、水稲、小麦、大豆のほか、かんしょ、玉ねぎ等の園芸作物を組み合わせた農業経営、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物及び茶の専作による農業経営が展開されている。

第４節　地域環境の概況

本地域は、静岡県の西部に位置し、天竜川左右岸に広がる農業地帯であり、沖積低地に広がる水田地帯のほか、磐田原台地や丘陵地に広がる茶畑、遠州灘海岸付近の畑地帯があり、台地周縁部の斜面林など多様な自然環境を有し、これら多様な自然環境により農村景観が形成されている。

本地区の農業水利施設及びその周辺では、サンショウクイ、ミナミメダカ、ウスゲチョウジタデ等、多くの生物の生息、生育が確認されている。

第３章　基本計画

第１節　事業計画の要旨

１　要　旨

本事業は、静岡県浜松市、磐田市、袋井市及び周智郡森町にまたがる水田6,123ha、普通畑437ha及び樹園地890haの用水改良を目的とするものである。

本事業において、老朽化した施設の改修にあわせて省エネルギー化に資する対策を行うとともに、必要な耐震性を有していない施設の耐震化のための整備を行うことにより、農業用水の安定供給及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、もって農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

２　事業別面積

事業名	低炭素農業水利システム構築							備考
土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	計 (ha)	
用水改良	6,123	437	－	34	806	50	7,450	
計	6,123	437	－	34	806	50	7,450	

3　環境との調和への配慮

本事業においては、関係市町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

具体的には、揚水機場の整備に当たっては、カエルや魚類の生息環境及び移動経路に配慮するとともに、施設周辺の景観との調和に配慮する。

また、工事の実施に当たっては、希少な動植物の類似環境への移動又は移植を行うとともに、騒音振動対策及び濁水流出対策を行い、周辺環境への影響の軽減に努める。

第２節　営農計画及び土地利用計画

1　営農計画の概要

本地区の営農計画は、水稲、小麦、大豆のほか、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物を組み合わせた農業経営、かんしょ、たまねぎ等の園芸作物及び茶の専作による農業経営を指向する。

営農改善の方向としては、農業用水の安定供給を確保し、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図る。

2　土地利用区分

土地利用区分 ＼ 区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
現況	6,123	437	－	34	806	50	7,450	－	－	－	－	7,450	
計画	6,123	437	－	34	806	50	7,450	－	－	－	－	7,450	

第３節　用水計画

１　計画基準年

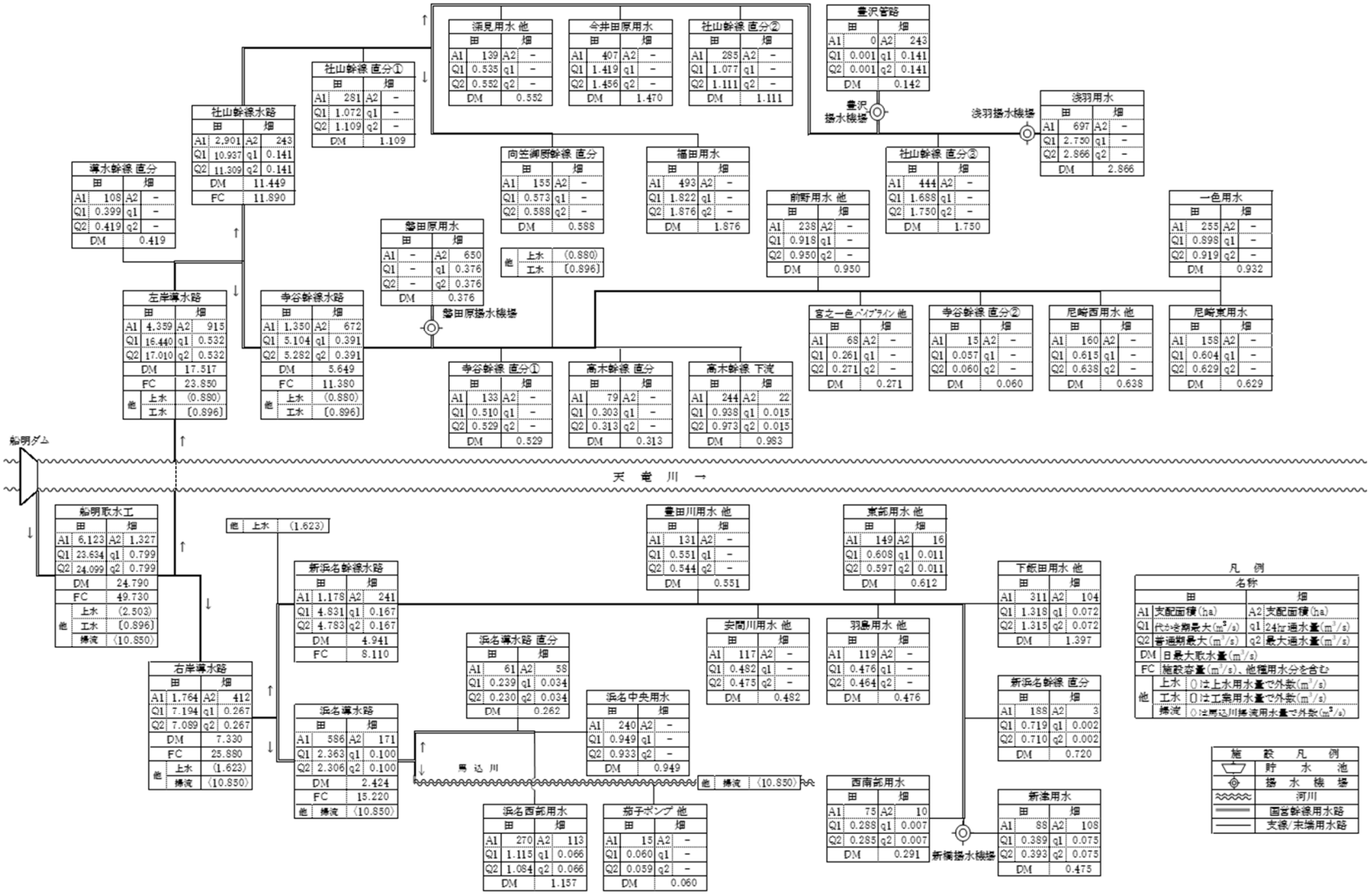
昭和 22 年　（かんがい期の有効雨量及び干天日数、1/10 確率相当年）

２　計画かんがい方式

水田	水　稲	：	たん水かんがい	かんがい期間　４月下旬～10月上旬 （代かき期間　４月下旬～５月下旬　15～16日間）
	畑作物	：	うね間かんがい	かんがい期間　通年
畑	普通畑	：	散水かんがい	かんがい期間　通年
	樹園地	：	散水かんがい	かんがい期間　通年

3　計画用水系統

計画用水系統模式図



4　計画用水量

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	水田かんがい 代かき期 計画代かき用水量 (mm)	水田かんがい 面積 (ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	水田畑利用 平均間断日数 (日)	水田畑利用 面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	畑地かんがい 平均間断日数 (日)	畑地かんがい 面積 (ha)	その他 計画平均単位用水量 (mm/日)	その他 面積 (ha)	消費水量 (m^3/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m^3/s)	粗用水量 最大 (m^3/s)	備考
左岸導水路	農業用水	[663] 5,274	(41) 28	155	[663] 4,359	(5) 3	4	663	(6) 3	3~6	915	－	－	(14.790) 5.409	15~40	4.671	17.516	( )は最大値
右岸導水路	農業用水	[268] 2,176	(41) 29	185	[268] 1,764	(5) 3	4	268	(5) 4	3~6	412	－	－	(6.210) 2.305	15~40	2.002	7.330	[ ]は水田畑利用の面積で内数
計		[931] 7,450			[931] 6,123			931			1,327		－					

５　水源計画

有効雨量	水田　（水稲）	：	5㎜/日～80㎜/日の80％
	（畑利用）	：	5㎜/日以上の80％で上限はＴＲＡＭまで
	普通畑・樹園地	：	5㎜/日以上の80％で上限はＴＲＡＭまで
ＴＲＡＭ	水田　（畑利用）	：	24㎜
	普通畑（台地）	：	24㎜
	普通畑（海岸）	：	18㎜
	樹園地	：	24㎜
間断日数	水田　（畑利用）	：	４日
	普通畑（台地）	：	４日
	普通畑（海岸）	：	３日
	樹園地	：	６日
かんがい効率	水田　（水稲）	：	85％　たん水かんがい
	（畑利用）	：	60％　うね間かんがい
	普通畑・樹園地	：	80％　散水かんがい

区分 ＼ 項目		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点利用可能量	ほ場利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
		a （千m³）	b （千m³）	c＝a－b （千m³）	$d=\frac{c}{(1-\alpha)}$ （千m³）		e （千m³）	f （千m³）	g＝c－f （千m³）	h＝d－e （千m³）		（千m³）		損失率：α
構築 低炭素農業水利システム	既水田かんがい	230,635	27,011	203,624	240,840	河川	240,840	203,624	－	－	－	－	－	水田：α＝15% 水田畑利用：α＝40%
	畑地かんがい	12,641	5,829	6,812	8,521	河川	8,521	6,812	－	－	－	－	－	α＝20%
	計	243,276	32,840	210,436	249,361		249,361	210,436	－	－		－		
（参考）他種用水	水道用水					河川	71,229							
	工業用水					河川	28,256							
	馬込川掃流用水					河川	342,166							

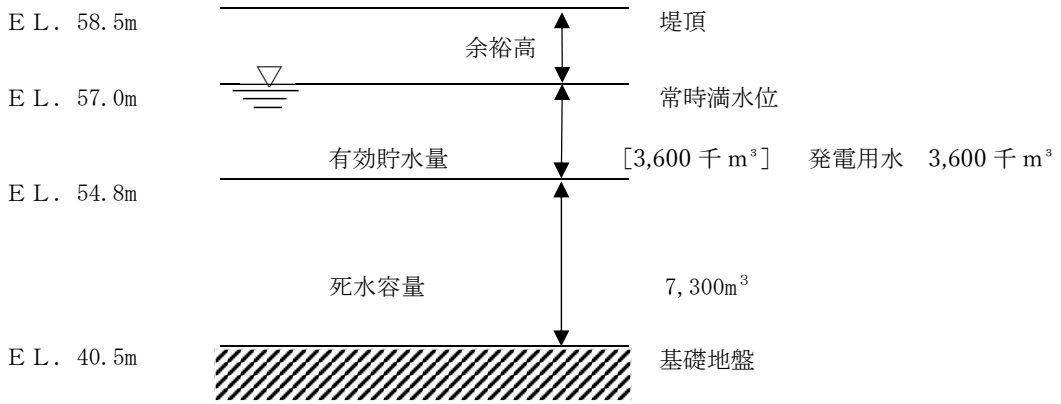
第４章　工事又は管理の要領

第１節　工事の内容

１　貯水池

<table>
<tr><td>名称</td><td colspan="3">船明ダム</td><td>位置</td><td colspan="6">静岡県浜松市天竜区日明(右岸)
静岡県浜松市天竜区船明(左岸)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">堤体</td><td rowspan="2">型式</td><td colspan="2">流域面積（km²）</td><td rowspan="2">堤高
(m)</td><td rowspan="2">堤長
(m)</td><td rowspan="2">堤体積
（千ｍ³）</td><td rowspan="2">基礎地盤
地質</td><td colspan="2">貯水量（千ｍ³）</td><td rowspan="2">備考</td></tr>
<tr><td>直接</td><td>間接</td><td>総貯水量</td><td>有効貯水量</td></tr>
<tr><td>重力式
コンクリートダム</td><td>4,895.0</td><td>－</td><td>24.5</td><td>220.0</td><td>54</td><td>黒色片岩</td><td>10,900</td><td>[3,600]
－</td><td rowspan="4">耐震化対策（洪水吐き・取水設備）
[　]は共同事業を含む全体取水量</td></tr>
<tr><td rowspan="3">洪水吐き</td><td>型式</td><td colspan="2">洪水量（m³/s）</td><td rowspan="3">取水施設</td><td>型式</td><td>取水量
(m³/s)</td><td rowspan="3">放流施設</td><td>型式</td><td>放流量
(m³/s)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ゲート式</td><td colspan="2" rowspan="2">11.130</td><td>ゲート型</td><td>[39.038]
農業用水：24.789
水道用水：　2.503
工業用水：　0.896
掃流用水：10.850</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>

容 量 配 分 図



2　頭首工

名称	船　明　取　水　工	位置	静岡県浜松市天竜区日明			備考
型式	構造		取水位（m）	取水量（m^3/s）	附帯施設	
取水水門	鋼製ローラゲート		42.0 Ｂ7.0m × Ｈ4.3m × ２門	[39.038] 24.789	制水門	改修・耐震化対策 [ ]は水道用水、工業用水、馬込川掃流用水を含む全体取水量

3　揚水機

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程（m）		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力	台数 (台)	
豊沢揚水機場	静岡県袋井市浅羽	0.142	89.0	75.5	渦巻型	200	2	電動機	110kW	2	改修
浅羽揚水機場	静岡県袋井市新堀	2.866	21.7 21.7 15.1	2.6 2.6 2.6	渦巻型	700 500 200	2 1 1	電動機	310kW 167kW 15kW	2 1 1	改修
磐田原揚水機場	静岡県磐田市神増	0.376	105.0	98.5	渦巻型	300	2	電動機	290kW	2	改修
新橋揚水機場	静岡県浜松市中央区新橋町	0.475	17.0	4.8	渦巻型	350	2	電動機	110kW	2	改修

4　用水路

項目 水路名	かんがい面積 (ha)	通水量 (m^3/s)	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
			開渠	トンネル その他	計				
左 岸 導 水 路	5,274	[19.292] 17.516	0.1	6.3	6.4	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	1/2,000～1/750	余水吐き 1 か所 サイホン 1 か所	改修・耐震化対策 [　] は水道用水、工業用水を含む最大通水量
社 山 幹 線 水 路	(3,144)	(11.449)	13.4	6.3	19.7	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	1/4,100～1/450	余水吐き 4 か所 落差工 6 か所 水路橋 1 か所 サイホン 62 か所	改修・耐震化対策 (　) は左岸導水路と重復で内数
向笠御厨幹線水路	(648)	(0.588)	4.4	0.6	5.0	コンクリート直壁型	1/1,000～1/900	サイホン 39 か所	改修 (　) は左岸導水路と重復で内数
寺 谷 幹 線 水 路	(2,022)	[7.425] (5.649)	8.7	1.4	10.1	コンクリート函渠 コンクリート直壁型	1/3,500～1/60	余水吐き 3 か所 落差工 3 か所 サイホン 7 か所	改修・耐震化対策 [　] は水道用水、工業用水を含む最大通水量 (　) は左岸導水路と重復で内数
浅　羽　管　路	(697)	(2.866)	－	1.6	1.6	管水路	1/300	－	改修 (　) は左岸導水路・重復で内数
豊　沢　管　路	(243)	(0.142)	－	0.6	0.6	管水路	1/600	－	改修 (　) は左岸導水路・重復で内数
磐田原幹線水路	(650)	(0.376)	－	1.0	1.0	管水路	1/1,600	－	改修 (　) は左岸導水路と重復で内数

項目 水路名	かんがい面積 (ha)	通水量 (m^3/s)	延長（km）			構造	勾配	主要構造物	備考
			開渠	トンネル 暗渠 その他	計				
右 岸 導 水 路	2,176	[19.803] 7.330	－	5.0	5.0	トンネル コンクリート函渠 コンクリート直壁型	1/4,000～1/1,000	余水吐き 1 か所	改修・耐震化対策 [ ] は水道用水、馬込川掃流用水を含む最大通水量
浜 名 導 水 路	(757)	(2.424)	1.6	0.1	1.7	コンクリート直壁型	1/4,000	サイホン 1 か所	改修 ( ) は右岸導水路と重復で内数
新浜名幹線水路	(1,419)	(4.941)	10.6	14.3	24.9	コンクリート直壁型 コンクリート函渠 管水路	1/3,000～1/500	余水吐き 5 か所 落差工 4 か所 調整池 1 か所 サイホン 43 か所	新設・改修 ( ) は右岸導水路と重復で内数
計	7,450		38.8	37.5	76.3				

5　その他かんがい施設

項目 施設名	構造 (制御方法)	規模	数量	備考
水管理施設	遠方監視制御	親局及び子局	一式	新設・改修（頭首工、揚水機及び用水路の附帯施設）

第２節　管理の要領

１　管理者

施　　設　　名	管　　理　　者	備　　考
船明ダム	静岡県	
船明取水工	静岡県	
豊沢揚水機場	豊笠土地改良区	
浅羽揚水機場	袋井市、磐田市	
磐田原揚水機場	磐田原土地改良区	
新橋揚水機場	浜松土地改良区	
左岸導水路	静岡県	
社山幹線水路	磐田用水東部土地改良区	
向笠御厨幹線水路	磐田用水東部土地改良区	
寺谷幹線水路（上流部）	静岡県	上工水分水工より上流の区間
寺谷幹線水路（下流部）	寺谷用水土地改良区	上工水分水工より下流の区間
浅羽管路	磐田用水東部土地改良区	
豊沢管路	豊笠土地改良区	
磐田原幹線水路	磐田原土地改良区	
右岸導水路（上流部）	静岡県	上工水分水工より上流の区間
右岸導水路（下流部）	浜松土地改良区	上工水分水工より下流の区間
浜名導水路	浜松土地改良区	
新浜名幹線水路	浜松土地改良区	

２　管理方法に関する基本的事項

本事業において整備される施設については、静岡県は関係者間で締結した協定書等に基づき、袋井市、磐田市、浜松土地改良区、寺谷用水土地改良区、磐田用水東部土地改良区、磐田原土地改良区又は豊笠土地改良区は維持管理計画に基づき、それぞれ適正な管理を行う。

第５章　費用の概算

区　分 ＼ 事業名	低炭素農業水利システム構築 （百万円）	計 （百万円）	備考
主　要　工　事	60,000	60,000	令和６年度単価
附　帯　工　事	－	－	
計	60,000	60,000	

第６章　効　　用

区分＼項目	年総効果（便益）額（百万円）	現況年総農業所得額（百万円）	備考
食料の安定供給の確保に関する効果	4,643		作物生産効果 品質向上効果 営農経費節減効果 維持管理費節減効果
農業の持続的発展に関する効果	－		
農村の振興に関する効果	19		地域用水効果
多面的機能の発揮に関する効果	－		
その他の効果	832		災害時の復旧対策費軽減効果、 国産農産物安定供給効果
計	5,494	4,100	令和６年度単価

第７章　他の事業との関係

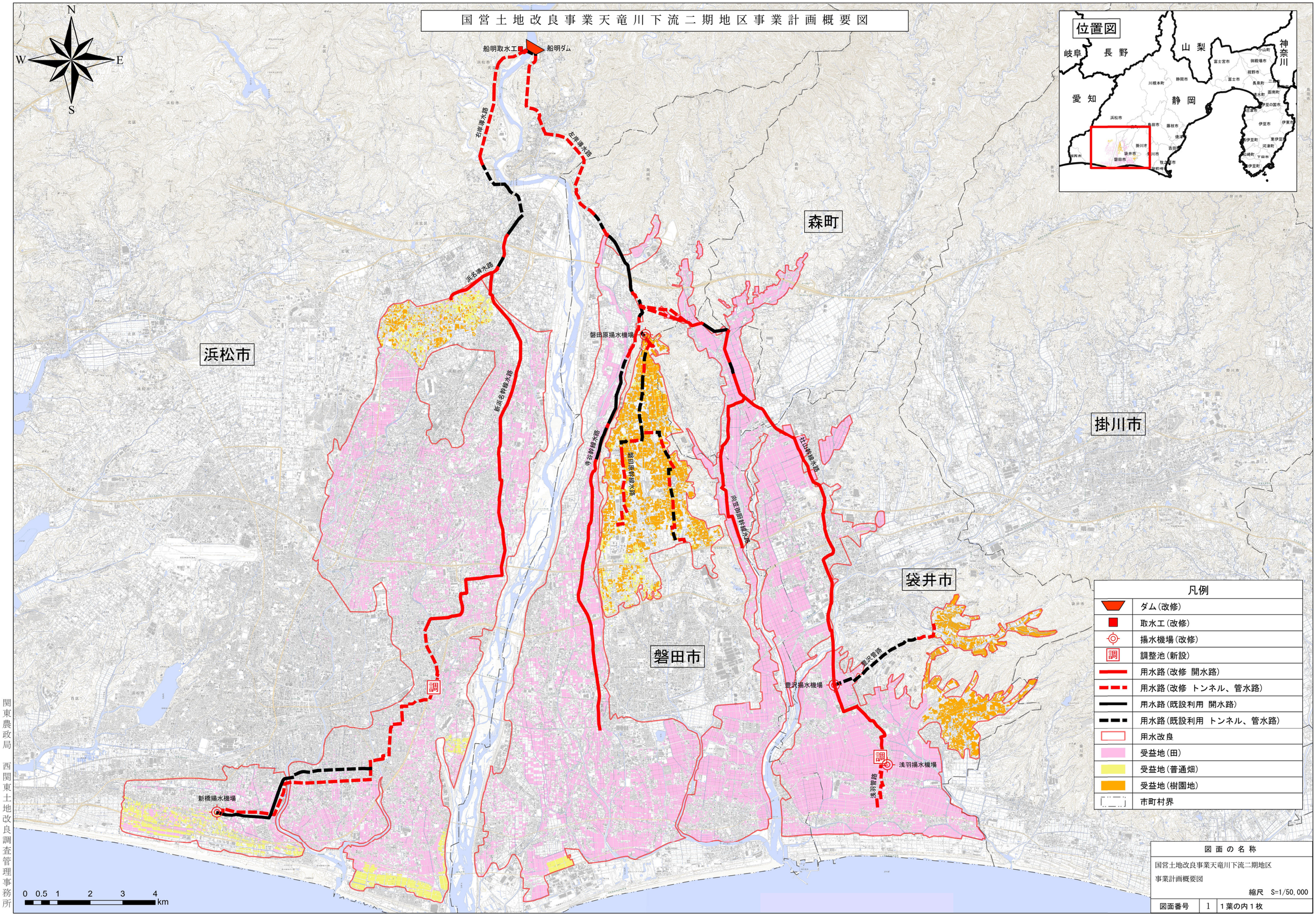
区　分	事　業　名	事業主体	受益面積（ha）	事　業　内　容
その他	船明ダム耐震化対策事業	電源開発 株式会社	－	船明ダム耐震化対策　　１か所
	静岡県中遠工業用水道事業	静岡県 企業局	－	船明ダム耐震化対策　　１か所 用水路改修・耐震化対策　L=12.8km
	静岡県遠州広域水道用水供給事業	静岡県 企業局	－	船明ダム耐震化対策　　１か所 用水路改修・耐震化対策　L=12.8km

第８章　計画概要図

別添図面のとおり

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 5JHf 278) 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

国営土地改良事業天竜川下流二期地区事業計画概要図



凡例

	ダム(改修)
	取水工(改修)
	揚水機場(改修)
調	調整池(新設)
	用水路(改修 開水路)
	用水路(改修 トンネル、管水路)
	用水路(既設利用 開水路)
	用水路(既設利用 トンネル、管水路)
	用水改良
	受益地(田)
	受益地(普通畑)
	受益地(樹園地)
	市町村界

図面の名称		
国営土地改良事業天竜川下流二期地区 事業計画概要図 縮尺 S=1/50,000		
図面番号	1	1葉の内1枚

関東農政局 西関東土地改良調査管理事務所